

November
2013

The Record

vol.648

アナログレコード再び

「J-Music LAB」インドネシアのジャカルタで展開



®

RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest.....	1
特 集	
アナログレコード再び	3
特 報	
「J-Music LAB」インドネシアの ジャカルタで展開.....	10
千代田区民講座 第5回音のサロン 「90年代邦楽ロック特集～もう一度、 音楽リスナーをはじめよう～」開催.....	11
ヒット曲で振り返る昭和	12
Monthly Production Report	13
GOLD DISC	14

9/19

当協会高杉常務理事、 東北大学にて講義

9月19日、仙台市青葉区の東北大学で開講された日本音楽著作権協会（JASRAC）寄附科目「現代社会と著作権」において、当協会高杉常務理事が講義を行った。本講座はJASRACの寄附のもと開講され、甲野正道明治大学理事長付特任補佐を客員教授として招き、音楽をはじめとする創作に携わる方々に加え、関係業界や法律実務家など多くの講師の方々が、著作権制度およびそれを取り巻く状況を多角的に考察する集中講義である。全学年を対象とし、授業を通じて著作権制度の基礎的な仕組みを理解するとともに、変革期にある著作権制度の今後の在り方を探求していく内容である。

当日は「創作活動と著作権 ～レコード製作者と著作権法上の課題～」をテーマに講義が行われ、音楽ソフトの国内外の市場状況をはじめ、レコードに関する権利関係や当協会の集中管理事業など、レコード製作者の役割をさまざまな側面から説きつつ、音楽創造のサイクルについて述べた。また、ネットワーク上の違法な音楽流通に関して、昨年10月に施行された私的違法ダウンロード罰則化の概要ならびに当協会が実施した啓発活動を紹介したほか、私的録音録画補償金問題やレコード保護期間延長など、レコード製作者が抱えるさまざまな課題について解説を行った。

10/17

当協会高杉常務理事、 MPA音楽著作権管理者 養成講座で講義

10月17日、一般社団法人日本音楽出版社協会（MPA）が主催する音楽著作権管理者養成講座において、当協会高杉常務理事が「日本のレコード産業と著作権法上の課題」のテーマで講義を行った。

講義では、音楽ソフトの国内外の市場状況に続き、レコードに関する権利関係やレコード製作者の法的保護の歴史が解説された。また、レコード利用に関する権利処理として、当協会の集中管理事業（①二次使用料②放送用複製使用料③貸与使用料④私的録音録画補償金⑤放送番組ネット配信に係る送信可能化使用料）それぞれの仕組みや徴収額についての詳細な説明が行われた。

今後の課題としてあげた「ネットワーク上の違法な音楽流通（対策）」については、一施策ではなく、多方面から複合的な対策を講ずる必要があると、その重要性を説いた。対策としては、違法ファイルの削除要請活動、刑事・民事といった法的措置、クローリング・フィルタリングに代表される技術的対策に加え、エルマークの推進や著作権啓発活動など当協会が実施する各種施策を取り上げ、その実績を含めて概要説明を行った。

最後に「私的録音録画補償金問題」「レコードの保護期間延長」「レコードの公衆への伝達に係る権利の創設」といった事項を今後の課題として述べるなど、最新のレコードビジネスを網羅的に学べる充実した講義内容であった。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

「オーディオ・ホームシアター展 2013 (音展)」開催 HiRAC が NDL「歴史的音源」専用サイト (れきおん) 紹介ブースを出展

10月18日～20日の日程で、東京・台場の「TIME (タイム) 24」TOKYO INFORMART EXPRESS24において、一般社団法人日本オーディオ協会 (JAS) 主催、当協会後援の「オーディオ・ホームシアター展 2013 (音展)」が開催された。



当協会は歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC)* と共同で「古 (いにしえ) の音を聴いてみよう」と題したブースを出展し、国立国会図書館 (NDL) の SP 音源公開サイト「れきおん」 (<http://rekion.dl.ndl.go.jp/>) を多くのオーディオファンにアピールした。

同サイトは、SP 盤音源の散逸・劣化による喪失を危惧して HiRAC がデジタル化を行った音源を、NDL がデジタル化資料「歴史的音源」としてアーカイブ公開しているものである。NDL には約 48,700 音源がアーカイブされているが、このうち著作権・著作隣接権の切れた 1,090 音源が同サイトで視聴可能となっている。

有名な「古人曰く勝て兜の緒を締めよと」で締めくくられる、東郷平八郎の朗読『講演：連合艦隊解散式訓示』、ブッチーニが絶賛したという「蝶々夫人」で知られる日本人初の国際的オペラ歌手、三浦環の『独唱：勝ちて帰れ「歌劇アイダ」より』、『春の海』が国内外で高く評価される宮城道雄による箏曲『線香花火』など、唱歌・流行歌・童謡・落語・歌劇・演説講演といった多岐にわたるジャンルの音源が試聴できるブースは、ハイレゾやスーパーハイビジョン、ネットワークオーディオなど最新の AV 展示が相次ぐなか異彩を放った存在として多くのオーディオファンの目を惹いていた。音源を視聴した来場者からは「予想以上に良い音で保存されており、驚いた」「自宅のパソコンでじっくり聴いてみたい」といった声が多数寄せられていた。

* 歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC) 構成団体

日本放送協会／一般社団法人日本音楽著作権協会／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会／公益財団法人日本伝統文化振興財団／一般社団法人日本レコード協会 (順不同)

「れきおん」については、巻末の「協会からのお知らせ」でも詳しい紹介を掲載しております。



●●● 会員社のお知らせ ●●●

■ 移転 (2013 年 10 月 7 日付)

社名：株式会社フォーライフ ミュージック
エンタテインメント (正会員)

新住所：106-0047 東京都港区南麻布
3-19-23 オーク南麻布ビル 12F

電話番号：03-6409-6983

FAX 番号：03-3473-2121

RIAJ2013年10月度理事会議案

■ 審議事項

1. USEN との平成 25 年度二次使用料契約締結について

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) AAA 運営事務局「AAA (Act Against AIDS) 2013 年度」後援名義使用および協賛金依頼
 - (2) MPA「MIDEM/JAPAN STAND 2014」後援および協力金依頼
2. 平成 25 年度上半期重点施策および予算執行状況について
3. 法制委員会関係報告
 - (1) 内閣府規制改革会議 (クラウド関係) の動きについて
4. 著作権保護・促進センター (CPPC) 関係報告
 - (1) 2013 年度 9 月度および上半期活動状況について
5. マーケティング委員会関係報告
 - (1) レンタルシール変更およびケースシール廃止案について
 - (2) 「日本の音楽産業の経済効果に関する調査」結果報告
6. 広報委員会関係報告
 - (1) 違法ダウンロード刑事罰化／法施行 1 年経過に関する報道状況について
 - (2) GD フェス出演アーティスト決定について

アナログレコード再び

音楽を巡る環境は、日々変化し続けている。

昨年9月号本誌「CD30周年に寄せて」でCD発売から30年の足跡を追った際、音楽の聴き方や売り方、作り方にまで影響を及ぼしたCDの登場について、そのインパクトの大きさが語られていた。デジタル化の時代を拓き、産業の大きな伸長をもたらしたCDの誕生は感慨深いものがある。

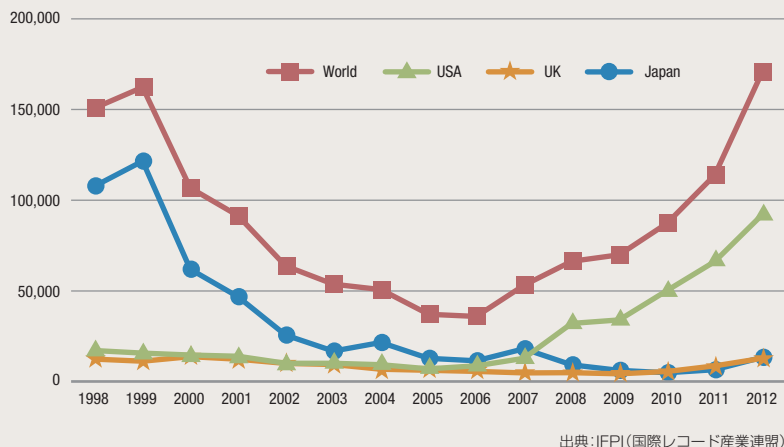
CD登場以後、デジタルの進化とともに変革を続けてきた音楽産業であるが、近年アナログレコードの売上に一定の広がりが見られている。昨年の全世界アナログ売上は、過去15年で最大の数値に達したのである。アメリカにおいても右肩上がりの売上増が継続中、日本も2010年から3年連続のプラス成長を維持し、そしてイギリスでは、今年10月の段階で既に過去10年最大の売上を記録するといった現象がおきている。

スマートフォンが普及し、24時間どこでもネットに繋がリワンクリックで音楽が手に入る時代、海外を中心にストリーミング型配信が主流になりつつある時代——本号では、デジタル時代の今、あえて「アナログレコード」がひそかに人々の手に取られている状況に着目し、特集する。

アナログレコードの作り手を代表する方々から、感性の結晶とも言える手作業であるが故の愛着や想いなどその魅力を存分に語っていただいた。今なお進行形で愛聴されるアナログレコードとともに、デジタル時代の果て、これからの音楽の未来をどのように創りあげてゆくべきか、思いを馳せていただきたい。

アナログレコードの売上推移

金額：千USドル（卸価格ベース）
（1ドル＝79.82円換算）



■参考：アナログレコードの製造工程（東洋化成株式会社）

カッティング

マスター音源をカッティングマシンでラッカー盤に刻む。制作サイドの要望に沿って音の調整も行う。



原盤工程

電鍍メッキにてラッカー盤(凹)マスター盤(凸)マザー盤(凹)スタンパー(凸)の順で盤を起こす（1枚のスタンパーからは2,000枚のプレスが可能）。



プレス工程

AB両面のスタンパーと原料、レーベルがセットされプレス機で量産（1枚のプレスにかかる時間は30秒。1,000枚なら約8時間半）。ピクチャー盤は手動プレス機のため1枚ずつプレス作業を行う。



パッケージング・出荷

傷・雑音の有無の検査を経て1枚1枚手作業でパッケージングし出荷。



■カッティングマシン
ラッカー盤に音を彫る。溝の具合を顕微鏡を使い人の目で丁寧に確認



■プレス工程
レコードの原料を手のひら大の塊にし、上下2枚のラベルではさむ（写真右）。これをプレス機（写真左）にセットし圧力でプレス

メジャーデビュー 10周年を迎えたASIAN KUNG-FU GENERATIONは、アナログレコードのリリースにも精力的に取り組んでいる。横浜スタジアムでの10周年記念2DAYSライブを終えて間もないメンバーの後藤正文氏に、アナログレコードの魅力や創り手としての姿勢などを中心に、デビュー 10周年で感じることを含め、さまざまに語っていただいた。

アナログレコード、パッケージをリリースする意味を考えながら

—アナログレコードは近年、国内外で生産数が増えています。じわじわ人気が再燃しているこの状況を、どうとらえますか？

基本的に、ある種のフェティシズムとアーティストへの愛情が、混ざり合って成立しているものじゃないかと思います。インディーズ・ロック界隈では「アナログを出すことがスタイル」な風潮もあり、7インチが普及してくるとテープやビデオテープを使うなど、誰が一番変わった懐古的なリリース方法を取れるのかのゲームにもなってくる。その実、聴く方はダウンロードして聴いている状況もあります。良い面悪い面、いろいろありますが、ミュージシャンにとってはいいことだと思っています。

ASIAN KUNG-FU GENERATION 後藤正文氏

—ご自身でレーベル「only in dreams」を立ち上げ、アナログのリリースも手がけていますね。

いい作品を創っていても見過ごされている人たちに会い、自分がやらなきゃと思ってスタートしました。

アナログをリリースするのは、自分の活動に加えてドネーションの意味もあります。震災復興支援への寄付のためなのですが、その活動のやり取りのしるしとして、形あるものが残ったほうがいいと思ったんです。モノは記憶や感情を留めておくのに役立ったりもしますから。





ASIAN KUNG-FU GENERATIONのボーカル&ギター。レーベル「only in dreams」を発足させ、編集長として未来を考える新聞「THE FUTURE TIMES」を発行するなど、音楽や社会とコミットした言動でも注目されている。



3形態で2012年9月に発売したアルバム「ランドマーク」

完全生産限定盤は、CDと異なるマスタリングのアナログ盤（180g重量盤）にレーコーディング風景の写真を掲載した特製ブックレットが付属されている。

1. CD+アナログ盤（完全生産限定盤）
2. CD+特典DVD（初回生産限定盤）
3. CD（通常盤）

もう一つ、アナログを作りながら学ぶという面も大きいですね。自分たちの世代が、リリースの手段としてアナログを選択すると、どういう未来が待っているのか。見通せないところを学びながらやっている。単なる徒手空拳に終わるかもしれませんが。

レコード・プレーヤーやスピーカーを購入してつなぎ、いちいち黒い盤を取り出して途中で裏返す労力を惜しまない人が、少しでも増えるのはネガティブなことじゃない。今は何もかもライトになりすぎ、という気がします。レコードを買うほど音楽を好きな人が増えるのはいいことですね。

ーアナログレコード製造を行う東洋化成を訪問したとき、レコードに針を置く作業は一種の儀式じゃないかという話も出ました。音楽に向かう姿勢が、アナログの場合少し違うのでしょうか。

ただ堅苦しくはないでしょう。自分たちがやっているのはポップミュージックです。一回水風呂に入ってからだを清めるとか、部屋の四隅に塩を撒くみたいなイメージのものじゃない（笑）。

ー修行じゃありませんからね。リスナーとして、レコードの良さをどう感じていますか。

アナログレコードに出会った十代の頃は、レコードってかっこいい、しゃれてるという気持ちがありました。自分の中のある種のスノビズムと結びついていると思います。今は、単純にアナログの音が好きです。内容によりませんが、音数の少ないほうがアナログ向きです。最新のR&Bなどはアナログの方が気持ちよく聴けたりします。家では大体アナログを聴いています。

ーダウンロードコード付のアナログのリリースも行っていますね。ケースバイケースで聴いてもらう配慮を感じます。

レコード・プレーヤーは持ち運べませんし、今は携帯プレーヤーで音楽を聴く時代ですから。やはり聴いてほしい気持ちがありますし、最低限のことだと思います。なかにはレコード・プレーヤーを持っていないのにアナログを好きで買う方もいるんですよ。若い人でもいます。本当はレコード・プレーヤーでも聴いて欲しかったりしますが。

ージャケットを含め、パッケージを作品として創ることを、どう考えていますか。

アナログに限らずCDに関しても、今、パッケージをリリースする意味を問われる時代になっていると思います。そこをミュージシャンが見直すときが来ているんじゃないでしょうか。「こういう決まりだからこれを出しますよ」とルーティンな作業みたいになっていくのでは、「アーティスト」の名折れないか。寄せ集めでよしとしないなら、本来のアルバム作りに回帰すべきだと思う。

—精巧なアルバムを手に入れたときは、いいものをもらったという気持ちがありました。

そうですね。このアルバム「ランドマーク」もブックレットをつけてもらい、取っておきたいものを目指しました。CDとアナログレコードをセットにしたこのアルバムでの心残りは、値段です。CD+レコードで単純に値段が倍になるという点は納得した結果ではありません。これは何とかならないかと思いました。従来どおり、ルールありきで考えずに、いろんな立場の人が柔軟な発想で意見を出し合えば、皆が幸せになる落としどころがどこかにあると思います。そういう柔らかさが、音楽産業の未来にとって大切なことではないでしょうか。

—活動のなかでアナログレコードはどういった位置づけになりますか。

陳腐ですが、自分で作った音楽をレコードで持っておきたいですね。家で聴くのはレコードですから。

またCDもそうですが、ミュージシャンとして、達成感を感じます。モノになる有難さ。音楽はかたちがないので、かたちになると安心するんだと思います、できた！ってね。

—「レコード・ストア・デイ*」の活動にも精力的に取り組んでいらっしゃいますが。

簡単にミュージシャンが参加できて、素晴らしいイベントで、皆がレコードショップに足を運ぶいい機会になります。日本のミュージシャンももっと参加すればいいのにとします。昔、店員さんと音楽を語ったり、このアルバムが入っていないと不満をぶつけてみたり、自分もショップに通って楽しかったし、今の子どもたちにも街に出てそういう楽しさを味わってほしい。音楽に関わる人が減るんじゃなくて増えていくように、盛り上がるといいですね。

—デビュー 10周年を経て、今思うことをお聞かせください。

記念ライブを終えてほっとしていますが、感慨に浸る間もなく、これからの音楽作りを考えています。自分の物差しで計っていいものを作りたい。物差しは硬直させず、学びながら質を上げたいと思っています。

音楽の現状には何も不安も心配もありません。ポップミュージックは現象を皆で楽しむものだから。変化する事象を面白がればいいし、消費されていくものだとも思います。そういう中で、自分たちは長いスパンで楽しめるものを作りたいですね。10年たってもレコード屋さんの棚に残っておいてほしい。今と同じように、10年後にまた中高生が僕たちのレコードを手にとってくれたら素晴らしい。

音楽の現状で問題なのが、売れている人しか音楽で生計を立てられず、そのために世に出るべき才能が埋もれてしまいかねない状況のあることです。ちゃんと才能を見つけてあげられるかが業界の課題です。レコード会社が才能ある人に投資できる質があれば、日本の音楽文化は充実するでしょう。そのためにも、レコード会社のスタッフの方々には「音楽文化を担っている」誇りを持ってほしいですね。創作はミュージシャンだけではできません。関わるスタッフすべての力が必要です。それをこの10年で学びました。

アナログの上昇傾向は音楽産業にはまたとないチャンスですよ。ムーブメントにできれば、ビッグチャンスが生まれます。今だからこそ、レコードを見たこともない子どもたちに、「レコードって面白いよ」というアプローチができる。ビッグネームのミュージシャンも皆、アナログリリースに乗っかれば面白くなると思います。そうなればアナログだけでなく、CDにもつながるし、CDショップも活気づく。

*レコード・ストア・デイとは

毎年4月の第三土曜日に開催される、レコード店、アーティストが一体となってアナログレコードやCDをレコード店で楽しむ祭典。5年前にアメリカでスタートして以降、世界中のレコード店で同日開催されている。レコードストアデイのためだけのアナログ盤がリリースされるなど、限定盤やグッズの発売に加え、インスタイベントの実施など、アーティストとファンが音楽の楽しさを共有する場として、特に海外では賑わいを見せている。



現在、日本国内で唯一のアナログレコード製造を行う東洋化成株式会社。1959年にSPレコードの材料メーカーとして出発したのち、レコード会社の要請を受けてアナログおよび印刷パッケージの生産に着手。以来、日本のアナログの最盛期を支え、CDの登場後もアナログの製造を継続、日本に加え、アジア各国のレコード会社、アーティストから篤い信頼を受けている。

同社で、アナログレコードの品質管理・技術・製造の業務に携わる西谷俊介氏、レコード各社やアーティストとの折衝などに取り組む小林美憲氏に、最近のアナログを取り巻く状況やユーザーニーズの変化、そして魅力などを伺った。

アナログの良さは、手間やデメリットもまとめて楽しみ、音楽と正面から向き合えること



東洋化成株式会社
ディスク事業部レコード課
西谷俊介氏

昼夜を通して操業した最盛期を経て

—これまでの、御社のアナログレコード製造の歩みをご紹介ください。

小林 当社はアナログ盤のプレスとパッケージ印刷に特化した、独立系の会社として歴史を重ねてきました。レコード各社から注文を受け、ピーク時対応を図りつつ事業を展開してきました。国内の17cmシングル盤の40%以上を製造していた時期もあります。最盛期は「およげ！たいやきくん」がヒットした1970年代の半ば頃。当時はプレス機械を100台近く導入し、昼夜操業で、1日に20万枚以上製造していたそうです。

その後CDの出現で、アナログの市場は縮小します。各社が事業撤退するなか当社は、「アナログを最後の一枚まで作ろう」という萩原重治社長（当時）の強い思いもあり、生産を継続してきました。1980年代後半には、途絶えるかという状況もありましたが、その後持ち直し、現在に至っています。



東洋化成株式会社
社長室
小林美憲氏

世界的にアナログが見直されている

—最近のユーザーニーズの変化や市場の動向をお聞かせください。

小林 予想外のDJユースのアナログ製作を経て、何と言ってもBlue Note・ビートルズ作品のアナログ再発をはじめとするジャズ・ポップスの世界でのアナログの見直しなどがエボックとなり、現在のアナログ市場が上向く状況につながっています。

西谷 アジアでの需要も高まり、特に中国市場の引き合いが目立ちます。テレサ・テンさんの生誕60周年記念で、ピクチャー盤のアナログを受注しました。ピクチャー盤はアジアで人気があり、オーダーが多いですね。

小林 アジアのレコード会社は日本の技術への信頼が高く、東洋化成の社名やメイド・イン・ジャパンをアピールしてくれます。

西谷 世界的な傾向から言えば、音楽ファンの世代交代でアナログを聴きたいという層が増えていることが挙げられます。約10年前はそれがジャズ・クラシックの世界で起きて、最近はロックの世界で「アナログを聴きたい」というニーズが生まれています。

日本ではそれ程普及していませんが、アナログ作品にダウンロードコードをつけて、デジタルで楽曲を聴けるようにし、ユーザーの利便性を上げるスタイルも浸透しているようです。

音を追求できるアナログ

—アナログが見直される背景にある利点とは、どういうものですか。

西谷 CDはアナログの弱点を解消して出てきたメディアですから、多くのメリットがあります。劣化しにくい、長時間録音でも均質な音質を実現できる、持ち運びしやすくスペースを取らないといったところです。ただアナログにはアナログ独自の良さがあります。例えばCDでは人間の可聴域外の周波数はカットされますが、アナログでは、人間に聴こえない高音、低音も入られます。それにより、ノイズを含めて自然に近い形の音楽体験を可能にします。

—アナログは、特にボーカルなど滑らかに聴こえますね。

西谷 デジタルは個々のビットレートを重ねて音ができますが、アナログは溝をなぞることで音を再生しますから、もともと滑らかです。音の波形を見ても、ビットの連なりよりも滑らかなものが現れます。

小林 音を作るというか、音を追求していけるのもアナログの魅力です。接触型であり、チューニングできる点で、ある意味、楽器と似通っています。

西谷 アナログ好きな方にはオーディオ好きな方も多い。聴く側の立場から見ても、アナログは針や再生機器を変えることで、自分の好みの音をセットアップできるという楽しみがあります。

またアーティストがアナログに惹かれるのは、音作り以外に、作品としてのアートワークの重みもあるでしょう。

小林 先ほどのダウンロードコードには、作品としてのアナログを持ちつつ、ポータブル機器でも楽曲を楽しみたい人には、非常によい特典ですね。音楽の多様な楽しみ方として、若い人にも広がっていくといいのですが。

西谷 アナログは、A面を聴いたらB面に返さなければなりませんし、そもそも針を置かなければ始まりません。手間はかかるのですが、音楽と正面から向き合うのにはいいメディアだと

思います。人間が集中して音を聴けるのは、20～30分が限度だと言われます。そういう意味でも音楽を集中して楽しむのに、ちょうど手ごろなんです。

—一種の儀式みたいな感覚もありますね。

西谷 アナログが好きな人は、手間をひっくるめて楽しんでいます。

若い人たちに知ってほしいアナログの新鮮な感動

—アナログを製造する立場から考えていることをお聞かせください。

西谷 製造現場は職人的なノウハウの必要とされる世界です。装置のメンテナンスも含めて自前でやっており、面白さは尽きません。

小林 若いアーティストと当社のベテランの職人たちが、コラボレーションして作品を作り上げていくのは、ものづくりの理想形でもあると思います。

—製造現場にはアーティストの方も見学に来られるそうですね。

小林 今回の特集に出られたASIAN KUNG-FU GENERATIONの後藤正文さんもメンバーの皆さんと一緒に来られました。

西谷 初めてアナログを作るアーティストの方は、皆さん感動なさいます。自分の作った音が針を通して再生される。その感覚がとりわけ新鮮なようです。

小林 アナログは劣化するメディアという宿命を背負いつつ、息の長いメディアとして生き残ってきました。音を追求できる魅力やアナログに触れる新鮮な感動を、もっともっと若いアーティスト、音楽ファンに体験してもらえればと思います。
(敬称略)



左から小林氏、西谷氏、社長室で多岐にわたり業務に携わる萩原直輝氏

ユニバーサル ミュージック合同会社では、音質にこだわるファンに向け、東洋化成と共同開発した高音質の「100% Pure LP」を昨年世界初でリリースした。アナログレコードの進化形とも言える「100% Pure LP」の特徴やラインアップ、市場での反響などについて、同社の塩川直樹氏に伺った。

音質の追求から生まれた 進化形のLP「100% Pure LP」



ユニバーサル ミュージック合同会社
USMジャパン
インターナショナル・カタログ部
マネージャー
塩川直樹氏

高音質ユーザーには LPが壁

私の部門ではロック、ポピュラー系のカatalogを担当していますが、当社で進める高音質をテーマとした製品展開の一環として、SHM-CD (Super High Material CD) に続いてSA-CD (Super Audio CD) のリリースを行ってきました。今年9月にはプラチナ素材を使用した新しい高音質CD (プラチナSHM) も発売したところです。一連のシリーズから音質を求めるユーザー層の市場に手ごたえを感じるとともに、LPにこだわるユーザーが多いという感触を得ました。SA-CDの展開時、LPとの比較で語られることも多く、音質面ではLPが一つの壁のような存在にもなっていたのです。

原材料から追求した 新たなLP

そういった経験を経て、高音質製品のひとつのかたちとして、LPのリリースに挑戦しようという企画が立ち上がりました。ただ、かつてのオリジナル盤と同様のものを作るのでは、中古での入手が可能ですから、市場形成が難しい。そこで新しいアプローチを考えました。オリジナルの再現ではなく、音質を追求した別のアナログレコードを作れないだろうか。SHM-CDで素材を変えて成功した事例も踏まえつつ、アナログ製造にあたる東洋化成と共同研究を開始しました。素材を見直しつつ音を聴き比べ、約1年間取り組んだ結果、最終的に、何も添加物を入れない塩化ビニール素材だけの試作品でいい音が得られました。レコードの色は普通、黒ですが、これは主原料の塩化ビニールの他に染料のカーボンなどを入れているためです。再利用や検品時の扱いやすさなどといった点が考慮されていますが、音に影響を与えるこれら着色物などを排除したので、やや黄色がかった透明盤でクリアなイメージの製品に仕上がりました。そのイメージと純粋な素材そのままで作っていることの両方を意識して、「100% Pure LP」という名を冠しました。

通常のLPと異なりメタルマスターから直接プレスを行うため、耐久性の問題で

完全限定生産となっています。音源のマスターには現地で入手したSA-CD向けのDSDファイルを使い、ジャケットの作りもオリジナル盤とは変えています。このようにマスター、素材からプレスまですべての工程にこだわった、全く新しい製品として昨年12月にロック・ポピュラー系10タイトル、ジャズ5タイトルのリリースを果たしました。今年6月には第2弾としてジャズ5タイトル、クラシック5タイトルをリリースしています。

昨年のリリース時に実施したジャズ喫茶での試聴会では、オリジナルLPとの聴き比べも行いました。ユーザーからは『オリジナル盤は塊で寄せてくる迫力がある一方、「100% Pure LP」はLPでありながら分離がよく、クリアだ』という評価を受けました。アナログの空気感、滑らかさを持ちつつ、分離のよさという特徴が加わった新たなアナログレコードが生まれました。音質にこだわるユーザーに、新たな選択肢をお届けできたと思っています。(談)



添加物などが排除された、原料のビニールそのままの透明な色をした「100% Pure LP」

特 報

Special Report

「J-Music LAB」インドネシアのジャカルタで展開

**J-Music
LAB**
ジェイ・ミュージックラボ

当協会は、11月15日～12月15日の1カ月間、インドネシア国ジャカルタ市内のショッピングモール内イベントスペースにおいて、日本音楽の情報を発信するプロモーション事業「J-Music LAB（ジェイ・ミュージックラボ）」を展開する。

同事業は J-LOP* の助成を受けて実施し、インドネシアのジャカルタを拠点に、経済成長が著しい東南アジア地域をターゲットとして日本音楽の認知向上を図り、ムーブメント確立を目指すものである。

*ジャパン・コンテンツローカライズ&プロモーション支援助成金（J-LOP）とは
日本コンテンツの海外展開に必要な「ローカライズ」「プロモーション」への支援など、海外発信に対する総合的な支援を実施することで、日本ブーム創出に伴う関連産業の海外展開の拡大、観光などの促進につなげることを目的とした政府による助成金である。

■ 事業概要

[主催] 一般社団法人日本レコード協会（RIAJ）

[協力] 一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）ほか

[期間] 2013年11月15日（金）～12月15日（日）

[会場]（ジャカルタ市内 ショッピングモール）f(x) 5階「The Only One Club」

[主なイベント（予定）]

- オープニング記者会見（11/15） ● 日本アーティストのライブパフォーマンス
- 日本音楽限定のDJイベント ● 日本音楽のCD、DVD、グッズの販売
- 日本音楽に関する各種イベント



キービジュアル

[出演予定アーティスト（日程）コメント]（出演予定順・敬称略）

川畑要（11/15、16）



2013年は、目標にしていたアジア進出をタイに続いてインドネシアでも叶えることができ、本当に嬉しいです。初となるインドネシアでのライブパフォーマンス。僕の歌を通して、日本の音楽がアジアのより多くの人に知ってもらえるように、全力で頑張りたいと思います！

AMIAYA（11/15、16）



ジャカルタに行くのは生まれて初めてなので今回ジャカルタでLIVEをすることができてとても嬉しいです。私たちのLIVEを通して日本の音楽に少しでも興味をもってもらえるように精一杯パフォーマンスしていきたいです！楽しみです！

moumoon（11/23）



moumoonのYUKAです！ 私達のLIVEで会場の皆さんがハッピーに、笑顔いっぱいになれるようなパフォーマンスをしたいです！（moumoon YUKA）
このイベントで、ジャカルタにてmoumoonのライブができること、本当に嬉しく思っています。インドネシアのみなさんに僕達の音楽を聴いてもらえることを心から楽しみにしています！（moumoon KOUSUKE MASAKI）

でんぱ組.inc（11/30）



海外で多くのイベント等参加させて頂いていますが、特にジャカルタは今年3回目なので馴染み深い都市です。現地のファンの方々との再会できるのが楽しみです！

あおい 藍井エイル（12/14）



今回でジャカルタにおじゃまるのは2度目となりますが、ジャカルタの皆さんに楽しんで頂けるよう、そして想いが伝わるよう精一杯頑張ります！みんなで一緒に楽しみましょーうっ！

TarO&JirO（12/7）



ああチクショウ！初のジャカルタ待ち遠しい！タロジロックでやっタルカ！

[オフィシャルサポーター]



AiU RATNA
日本・ジャカルタで歌手として活動中のAiU RATNAさんに、オフィシャルサポーターとして本事業を支援していただきます。

特 報

Special Report

千代田区民講座 第5回音のサロン 「90年代邦楽ロック特集～もう一度、音楽リスナーをはじめよう～」開催

9月25日、東京都千代田区の日比谷図書文化館スタジオプラスにおいて、第5回音のサロンが開催された。「音のサロン」は、千代田区立日比谷図書文化館、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）および当協会の共催で「良質の音楽を良質の環境で体験する場の提供」を目的としたイベントである。

第5回目となった今回は「90年代邦楽ロック特集～もう一度、音楽リスナーをはじめよう～」をテーマに、ラジオパーソナリティーの中村貴子氏をプレゼンターに招き、催された。

当日は、中村氏がパーソナリティーを務めた人気番組 NHK-FM「ミュージックスクエア」のオープニング曲「犬と猫（中村一義）」からスタート。「皆さん、こんばんは！ ラジオパーソナリティーの中村貴子です！」を第一声に、あらかじめ twitter で募集していた質問を公開ラジオ番組さながらに、リスナーからのお便り紹介として読み上げつつ、中村氏セレクトの数々の90年代邦楽ロック CD が奏でられた。

とにかく自分が好きな曲をオンエア

30年にわたり邦楽ロックを番組で紹介してきた中村氏がオンエアする曲の基準は「とにかく自分が好きな曲、カッコイイと思った曲。アルバムから選曲する時は必ずしも一番好きな曲をかけるのではなく、このアーティストのファンになってもらいたい！ CD を買ってもらいたい！ ライブに行ってもらいたい！ という曲を選んでいます」といったトークに始まり、随所に音楽に対する熱い想いが語られていた。

家では爆音で音楽鑑賞

「家で音楽を聴く時は昔からずっと、必ずスピーカーから爆音で聴くということにこだわっている。爆音で何回も聴くことで、自分の細胞に音楽がストンと入ってくる」というトークの直後には、「ガソリンの揺れかた（BLANKEY JET CITY）」を、ハイエンドオーディオが奏でる爆音で鑑賞。

また、「ラジオなのにゲストの方が全く喋ってくれなかったなどの、困った経験は？」の質問には、「アーティストの皆さんは、音楽を作り、楽曲を届け、ライブを届けるために生まれてきた方、番組に来て本人の声で曲紹介していただいただけで十分だと思います。無口な方で『・・・』が続いても、それも作品に含まれる部分だな、と思って楽しめます」と、アーティストへの多大なリスペクトを思わせる言葉が溢れた。

ラストは「今日のイベントタイトル『もう一度』には私のこだわりを込めさせていただきました。90年代には素晴らしいロック



が沢山存在します。それを聴いて、一度音楽リスナーを離れた方にも、もう一度戻っていただきたい、ということでサブタイトルをつけさせていただきました」という熱のこもった言葉に続き「お相手は、ラジオパーソナリティーの中村貴子でした、ばいばーい！」の挨拶で観客の拍手喝采のなか、エンディングを迎えた。当時の番組がそのまま再現されたかのような楽曲ラインアップに大感激する聴衆の様子が多数見られ、大盛況のうちに幕を閉じた。

セットリスト（曲名／アーティスト名）

オープニングテーマ曲 犬と猫／中村一義
 M1 everybody goes - 秩序のない現代にドロップキック／Mr.Children
 M2 東京／くるり
 M3 ガソリンの揺れかた／BLANKEY JET CITY
 M4 キャンディ・ハウス／THEE MICHELLE GUN ELEPHANT
 M5 ヘイ・ミスター・ドリーマー／プレイグス
 M6 GLASS ROOTS／GREAT 3
 M7 ZERO／B'z
 M8 1000のバイオリン／THE BLUE HEARTS
 M9 Raspberry／TRICERATOPS
 M10 覚醒／GRAPEVINE
 M11 とっておきの唄／BUMP OF CHICKEN
 M12 明日の行方／SMILE
 M13 プリテンダー／THE GROOVERS
 M14 明日のために靴を磨こう／HEATWAVE
 M15 ストレンジ カメレオン／the pillows
 M16 JAM／THE YELLOW MONKEY
 エンディングテーマ曲 ドレッドライダー／シアターブルック

使用機器（メーカー）型番

CD プレーヤー（YAMAHA）CD-S3000
 プリメインアンプ（SPEC）RSA-F1
 スピーカー（TANNOY）DC-10A
 クリーン電源（Accuphase）PS-1220
 電源ボックス（KRYPTON）PB-HR1000、PC-HR1000
 ラック（YAMAHA）GT ラック

ヒット曲で 振り返る 昭和 Vol. 74

歌は世につれ世は歌につれ。

音楽評論家・反畑誠一氏の執筆のもと、

時代を彩ったヒット曲から、激動の「昭和」を追想する。

昭和61年(1986)

S61「クリスマス・イブ／(唄) 山下達郎」

(作詞・作曲) 山下達郎

「間違いなく私の代名詞となつて残るであろう一曲。もう語りつくした感があるが、それでも自分の全作品中、詞・曲・編曲・演奏・ミックス、すべての要素がバランスよく仕上がった数曲のひとつであり、それが自分の代表曲となったことを、神様に感謝している」と昨年リリースしたベストアルバム「OPUS」～ALL TIME BEST 1975-2012～に自ら書いたライナーノートからの一文である。ボーナス盤を含む4枚組55曲入りのBOX。その中にはシュガー・ベイブ(RCA/AIR)時代の作品が17曲収録してある。「私がシュガー・ベイブでデビューしたのは1975年(S50)。その翌年にソロになりました。(中略)当時の日本でのロック・ポップシーンの市場規模は、今とは比べものにならないほど小さなもので、ヒットはおろか作品を作ることにかなりの制約がありました。それが80(S55～H1)年代に近づくにつれて次第にマーケットが拡大し、それは私自身のプレイクにも大きな助けとなりました。いい時代でした」と記している。ちなみにバンドのメンバーには、大貫妙子、村松邦男らがいた。

アルバム「SONGS」(S50)に収録した「雨は手のひらにいつぱい」について山下は「作った当初はサザンロック風のアレンジだったが、プロデューサーの大瀧詠一さんの提案により、フィル・スペクター志向のアプローチに変更された。個人的にはシュガー・ベイブのベスト・トラックと思っている」。スペクターはビートルズ『レット・イット・ビー』などをブ

ロデュースし、ポピュラー音楽の分野で大きな足跡を残した伝説の人。山下達郎らが目指した音楽性は洋楽志向であったのだ。話題の「クリスマス・イブ」は、通算12作目のシングルとして12月14日リリースされた。シュガー・ベイブ時代に未完成のままだったクリスマスの曲に、ふと「雨は夜更け過ぎに」という歌い出しが浮かび、あつという間に歌詞が書けたと聞く。この曲について大瀧詠一は「名曲は、100年に1度、出るか出ないかのもの。それがクリスマス・イブ。この曲は100年歌い継がれる」とコメントしている。

S63年、JR東海「ホームタウン・エクスプレス(X'mas編)」のCMのタイアップ曲になり、それをきっかけに今やクリスマス・ソングの定番楽曲になった。今年も「クリスマス・イブ」発売30周年を記念して30th Anniversary Editionとしてリイシュー再発売する(注:11月20日)。音源は新たに2013年最新リマスターを施し、更にアコースティック・ライブ・バージョン、英語バージョンも追加収録した。カップリング曲は「ホワイト・クリスマス」。ビング・クロスビー・バージョンがレコーディングされてから71年。間もなく今年も東西「100年に1度」のクリスマス・ソングの季節がやってくる。

ジャケット写真協力:株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
JASRAC 出1313457-301



S61「命くれない／(唄) 瀬川瑛子」

(作詞) 吉岡治 (作曲) 北原じゅん

S63、H元年の両年度連続でJASARAC賞(金賞)を受賞したヒット曲である。この賞はJASRACの著作物使用料の分配額が多かった作品が顕彰されている。「命くれない」は、S61年3月にリリースされたが、当初の売れ行きは鳴かず飛ばず。売れだしたのは翌年になってから。有線放送で上位にランクインするようになり歌声は広まっていった。まだ「ザ・ベストテン」(TBS系)が放送されていた時代で、S63年1月末で100万枚に達した。ちなみに同賞の銀賞は、「雪國」(吉幾三)、「乾杯」(長渕剛)が掌中にしていた。

2年連続にわたる「命くれない」のロングセラーで、瀬川は第38回NHK紅白歌合戦にデビュー20年目にして念願の初出場を果たした。父娘2代の晴れ舞台であった。父瀬川伸さんも歌手だった。S27年1月3日に放送された第2回「NHK紅白」で「上州鴉」(作詞・山本逸郎、作曲・島田逸平、タイヘイレコード)を歌った。この曲は同名の映画(冬島泰三監督、大河内伝次郎、水戸光子主演)の主題歌になっていた。瀬川の白組は、伊藤久男、岡本敦郎、藤山一郎ら12組。津村謙は「上海帰りのリル」を歌った。対する紅組は、笠置シズ子、越路吹雪、菅原都々子ら12組。渡辺はま子は「桑港のチャイナタウン」を華やかに歌唱した。司会は丹下キヨ子・藤倉修一。NHK第1スタジオから放送された。ラジオ全盛時代で、女湯をカラにしたというあの「君の名は」の放送が開始された年である。さらに瀬川伸は、第7回(S31)にも出演し、「明星鴉」を東

京宝塚劇場の舞台で熱唱した。国連総会において全会一致で日本の加盟が承認され、「もはや戦後ではない」が流行語になった時代である。巷には春日八郎「別れの一本杉」(作詞・高野公男、作曲・船村徹)が流れていた。

ミリオンセラー歌手になった瀬川瑛子は、S62に続き、翌年もNHK紅白で「憂き世川」を歌った。作詞・吉岡治、作曲・北原じゅん、「命くれない」コンビの作品だ。北原じゅんは、「兄弟仁義」、「骨まで愛して」、「愛ひとすじ」など昭和演歌のヒット作曲家。「まんが日本昔ばなし」の主題歌も手掛けている。作詞の吉岡治にも「波止場しぐれ」、「天城越え」、「さざんかの宿」、「真夜中のギター」などの多彩なヒット曲がある。「八月の濡れた砂」(石川セリ)も吉岡のヒット作だ。H22年他界されたが歌謡曲、童謡、アニメソングなど幅広いジャンルの作品を世に出された。惜しまれる。H25年、デビュー45周年を迎えた瀬川は、2枚のシングル作品をリリースした。

その第1弾は「命くれない」の生みの親、北原じゅんプロデュース・作曲の「のこり月」(作詞・円香乃)。一途に想い続ける切ない女心をいつまでも空から消えない「のこり月」に例えた歌だ。「NHK紅白」の晴れ舞台で、昭和の歌声を聴かせてほしい。

ジャケット写真協力:一般財団法人吉賀政男音楽文化振興財団
日本クラウン株式会社



当時の出来事

S61: (エンタメ業界)

- ・著作権法一部改正法施行・電算機ソフトを保護
- ・「スーパーマリオ」大量複製の主な逮捕
- ・海賊版対策のため「不正商品対策協議会」発足
- ・黒澤明監督「乱」の衣装デザインでワタエミがアカデミー賞受賞
- ・ファミコンソフト「ドラゴンクエスト」発売
- ・スーパー歌舞伎「ヤマトタケル」上演
- ・森進一、森昌子結婚
- ・ビデオソフト売り上げ2,000億円を超える

- ・映画「海と毒薬」が評判に
- ・細木数子の六星占術人気に
- ・渡辺淳一「化身」ヒット

(その他一般)

- ・チェルノブイリ原発事故
- ・東京サミット開幕
- ・東北自動車道開通
- ・三原山大噴火
- ・スペースシャトル「チャレンジャー」爆発
- ・文部省、初の「いじめ」と体罰の実態調査発表

- ・チャールズ皇太子夫妻来日、ダイアナブーム
- ・衣笠祥雄選手2,000試合連続出場達成
- ・日本テレコム営業開始
- ・ディスコ「マハラジャ」人気
- ・シートベルトの着用義務化
- ・スパイクタイヤ禁止へ
- ・ボケベル事業の東京テレメッセージ(株)発足
- ・富士写真フイルム「写ルンです」発売(1,380円)大ヒット
- ・小林製薬「便座除菌クリーナー」発売(220円)
- ・映画観覧料1,500円(代表封切館・大人料金)
- ・山手線初乗り運賃130円



反畑誠一(音楽評論家)
立命館大学産業社会学部
客員教授(「ポピュラー音楽概論」)、日本音楽著作権協会理事、日本レコード大賞常任実行委員

Monthly Production Report

2013年9月度レコード生産実績

9月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比 74%の 1,929 万枚・巻、金額で同 85%の 226 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 74%の 1,487 万枚・巻、金額で同 80%の 163 億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比 73%の 441 万枚・巻、金額で同 103%の 63 億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			9 月実績						2013 年 1 月～2013 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
シ	8cmCD	邦	1	0	41%	1	0	43%	38	0	92%	19	0	57%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	108%	0	0	80%
		計	1	0	40%	1	0	42%	39	0	92%	19	0	57%
ン	12cmCD	邦	3,483	23	69%	2,542	16	80%	44,402	32	95%	31,183	21	96%
		洋	41	0	151%	17	0	124%	587	0	58%	430	0	56%
		計	3,524	24	69%	2,559	16	80%	44,989	32	94%	31,613	22	95%
グ	小計	邦	3,484	23	69%	2,543	16	80%	44,441	32	95%	31,201	21	96%
		洋	41	0	151%	17	0	123%	587	0	58%	430	0	56%
		計	3,525	24	69%	2,560	16	80%	45,028	32	94%	31,632	22	95%
ル	12cmCD アルバム	邦	8,088	54	74%	10,633	65	78%	71,942	51	90%	92,165	63	91%
		洋	3,084	21	80%	2,908	18	91%	22,050	16	85%	20,439	14	88%
		計	11,173	75	75%	13,542	83	80%	93,991	67	89%	112,604	77	91%
CD 合計	CD 合計	邦	11,573	78	72%	13,176	81	78%	116,382	83	92%	123,366	85	93%
		洋	3,125	21	80%	2,925	18	91%	22,637	16	84%	20,870	14	87%
		計	14,698	99	74%	16,102	99	80%	139,020	99	91%	144,236	99	92%
アナログ ディスク	アナログ ディスク	邦	3	0	12%	3	0	10%	84	0	52%	130	0	100%
		洋	8	0	47%	13	0	88%	86	0	110%	136	0	136%
		計	11	0	27%	15	0	38%	169	0	71%	266	0	116%
カセット テープ	カセット テープ	邦	116	1	81%	108	1	83%	1,071	1	76%	862	1	77%
		洋	0	0	-	0	0	-	1	0	20%	1	0	108%
		計	116	1	81%	108	1	83%	1,072	1	76%	862	1	77%
その他	その他	邦	6	0	16%	9	0	27%	115	0	71%	152	0	87%
		洋	43	0	298%	41	0	119%	185	0	63%	323	0	61%
		計	49	0	91%	50	0	73%	301	0	66%	475	0	68%
合 計	合 計	邦	11,698	79	72%	13,296	82	78%	117,652	84	92%	124,510	85	93%
		洋	3,176	21	81%	2,979	18	91%	22,909	16	84%	21,329	15	87%
		計	14,874	100	74%	16,274	100	80%	140,561	100	90%	145,838	100	92%

● 音楽ビデオ

			9 月実績						2013 年 1 月～2013 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	DVD	邦	3,473	79	66%	3,968	63	89%	35,573	87	83%	37,625	74	83%
		洋	106	2	40%	139	2	43%	1,644	4	54%	1,790	4	55%
		計	3,579	81	65%	4,107	65	86%	37,218	91	81%	39,414	77	81%
Blu-ray Disc	Blu-ray Disc	邦	808	18	170%	2,133	34	178%	3,624	9	186%	10,950	22	173%
		洋	22	1	99%	68	1	55%	185	0	83%	554	1	84%
		計	831	19	166%	2,201	35	166%	3,810	9	175%	11,504	23	164%
テープ・その他	テープ・その他	邦	1	0	77%	1	0	52%	3	0	34%	6	0	40%
		洋	4,282	97	75%	6,102	97	107%	39,201	96	87%	48,581	95	94%
		計	128	3	44%	207	3	46%	1,830	4	56%	2,344	5	60%
合 計	合 計	計	4,411	100	73%	6,309	100	103%	41,031	100	85%	50,925	100	92%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			9 月実績						2013 年 1 月～2013 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			14,874	77	74%	16,274	72	80%	140,561	77	90%	145,838	74	92%
音楽ビデオ			4,411	23	73%	6,309	28	103%	41,031	23	85%	50,925	26	92%
合 計	合 計	邦	15,980	83	73%	19,398	86	85%	156,853	86	90%	173,091	88	93%
		洋	3,305	17	78%	3,185	14	86%	24,739	14	81%	23,672	12	83%
		計	19,285	100	74%	22,584	100	85%	181,592	100	89%	196,763	100	92%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			9 月実績						2013 年 1 月～2013 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD			6,781	77	75%	11,187	63	109%	65,729	80	87%	93,894	66	87%
テープ・その他			2,007	23	106%	6,532	37	135%	16,459	20	140%	49,366	34	150%
合 計			8,788	100	80%	17,719	100	117%	82,188	100	94%	143,260	100	102%

● オーディオ/ビデオ合計

			9 月実績						2013 年 1 月～2013 年 9 月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			14,874	63	74%	16,274	48	80%	140,561	63	90%	145,838	50	92%
ビ デ オ			8,788	37	80%	17,719	52	117%	82,188	37	94%	143,260	50	102%
合 計			23,662	100	76%	33,994	100	96%	222,749	100	92%	289,098	100	97%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト

邦 楽

アルバム

● プラチナ

Superfly BEST	Superfly	2013.09.25	WJ
Love Collection ～pink～	西野 カナ	2013.09.04	SE
Love Collection ～mint～	西野 カナ	2013.09.04	SE

● ゴールド

遊音倶楽部 ～1st grade～	絢香	2013.09.04	AMI
POPMAN'S WORLD ～All Time Best 2003-2013～	スキマスイッチ	2013.08.21	BV
小さな生き物	スピッツ	2013.09.11	UM
ソナボケイズム SUPER BEST	ソナーポケット	2013.09.03	TJC
A NUDE	山下 智久	2013.09.11	WJ

シングル

● ゴールド

No Limit	EXILE	2013.09.25	AMI
SCREAM	東方神起	2013.09.04	AMI
瞬き	堂本 剛	2013.09.11	JE
ヒリヒリの花	Not yet	2013.09.25	C
タイムマシンなんていない	前田 敦子	2013.09.18	K

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム) 共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AMI**: エイベックス・マーケティング / **BV**: アリオラジャパン / **C**: 日本コロムビア / **JE**: ジャニーズ・エンタテイメント / **K**: キングレコード / **PC**: ポニーキャニオン / **SE**: エスエムイーレコーズ / **TJC**: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / **UM**: ユニバーサルミュージック / **WJ**: ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信

※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

「着うた®」

邦 楽

● ミリオン

Love Story	安室 奈美恵	2011.11.02	AMI
------------	--------	------------	-----

● ダブル・プラチナ

逢いたくていま	MISIA	2009.10.18	BV
---------	-------	------------	----

「PC 配信 (シングル)」

邦 楽

● プラチナ

輝く月のように	Superfly	2012.08.15	WJ
空はまるで	MONKEY MAJIK	2007.07.25	AMI

● ゴールド

恋するフォーチュンクッキー	AKB48	2013.08.21	K
ふりそでーしょん	きゃりーぱみゅぱみゅ	2013.01.30	WJ
自由へ道連れ	椎名 林檎	2012.05.16	UM
How Do I Survive?	Superfly	2008.09.03	WJ
恋する瞳は美しい	Superfly	2009.07.22	WJ
紅蓮の弓矢 (TV サイズ ver.)	Linked Horizon	2013.04.08	PC
自由の翼	Linked Horizon	2013.06.08	PC

洋 楽

● ゴールド

オン・ザ・フロア feat. ビットブル	ジェニファー・ロベス	2011.05.18	UM
ユー・ピロング・ウィズ・ミー	テイラー・スウィフト	2009.06.24	UM

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

国立国会図書館（NDL）のデジタル化資料には、HiRAC*がデジタル化したSPレコード約4万8,700点の音源が「歴史的音源」としてアーカイブされています。

これらの音源のうち、著作権・著作隣接権の保護期間満了が確認された1,090点の音源が〈NDLデジタル化資料〉〈れきおん〉サイトで公開中です。

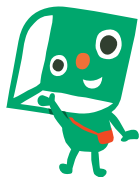
シェークスピアの翻訳で有名な坪内逍遙本人による『朗読：ベニスの商人（法廷の場）（一）』など、下記サイトより視聴が可能ですので、是非アクセスしてみてください。

（国立国会図書館デジタル化資料）<http://www.dl.ndl.go.jp/>

（れきおん）<http://rekion.dl.ndl.go.jp/>



*HiRACとは
歴史的音源アーカイブ推進協議会。SP盤の劣化、散逸による音源喪失を防ぐため、SP盤音源のデジタル化を実施し、NDLへ納品を行った。NHK、JASRAC、芸団協、伝統文化振興財団、当協会で構成。



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.648 2013年11月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 斉藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2013年11月11日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

産業規模だけで良し悪しははかれませんが、ネットの普及と反比例するように売上が下がり続けてきた音楽パッケージのなかで、ネットとは真逆の位置に存在するアナログレコードの売上が世界的に増えている、さらにライブエンタテインメント市場も盛り上がりを見せている——アナログレコードは、プレイヤー、針、アンプなどなどこだわりはじめるときりがない再生機のセッティングから始まり、「自ら針を落とし、A面終了後に盤を裏返し、B面が終了したらまた針を戻す」という、ある意味非常に能動的な音楽の聴き方を伴います。

「ライブに行き」「アナログレコードを聴く」能動的音楽ファンが確実に存在するという事実は、音楽の持つ潜在的な力の表れでしょう。特集記事ではアナログレコードの制作に携わる様々な立場の方々にご登場いただきましたが、皆一様に「音楽をどう伝えていくか」ということにとっても意識的に、一途に取り組んでいらっしゃる姿が印象的でした。(T)